

第36回

山形県少年少女俳句大会

作品集

芭蕉十泊のまち 尾花沢

大会選者（敬称略）

特別選者

奥坂 まや

俳誌「鷹」日光集同人

俳人協会評議員

日本文藝家協会会員

選者

大類 つとむ

山形県現代俳句協会 会長

あべ 美佳

脚本家

松田 佳津江

俳誌「街」同人

大泉 秀明

俳誌「陸」同人

三井 きみ子

俳誌「萌」同人

●参加状況

【小学生の部】 県内20校参加
投句数：906句

【中学生の部】 県内22校参加
投句数：投句数：1,426句

●主 催

尾花沢市
尾花沢市教育委員会

●後援団体（敬称略・順不同）

山形県
山形県議会
山形県教育委員会
山形県市長会
山形県現代俳句協会
尾花沢市議会
尾花沢市芸術文化協会
尾花沢市観光物産協会
尾花沢市商工会
みちのく村山農業協同組合
尾花沢ロータリークラブ
尾花沢中央ロータリークラブ

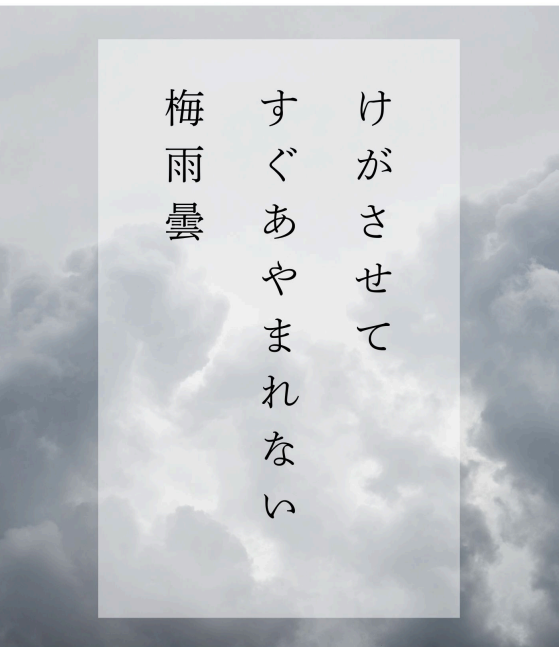
小学生の部

山形県議会議長賞



朝の会
混ざりたそうな
オニヤンマ

山形県知事賞

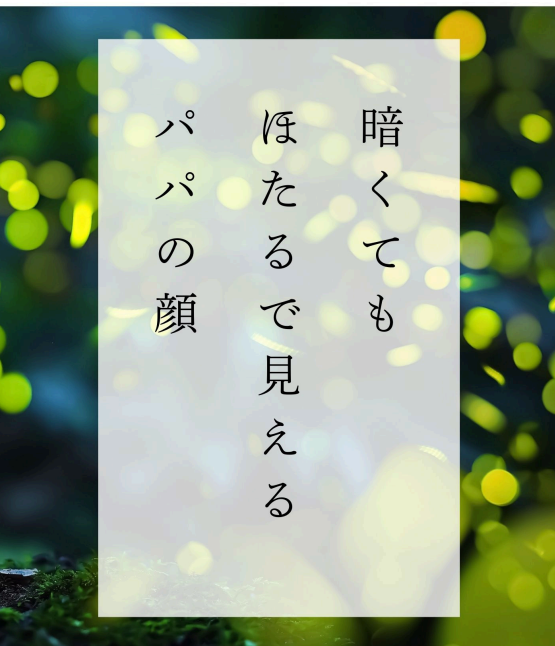


けがさせて
すぐあやまれない
梅雨曇

尾花沢市立宮沢小学校 6年 安野莉望

天童市立寺津小学校 5年 高橋祈々

山形県市長会会長賞



暗くても
ほたるで見える
パパの顔

山形県教育委員会教育長賞




一輪車
手をはなせたよ
春の風

尾花沢市立尾花沢小学校 4年 加藤颯真

上市市立宮川小学校 3年 井上優翔

尾花沢市議会議長賞

尾花沢市長賞



残雪を
ふみ鳴らしては
春の海




あさがおの
ともだちふえる
なつのあさ

河北町立谷地西部小学校 6年 宇野遥馬

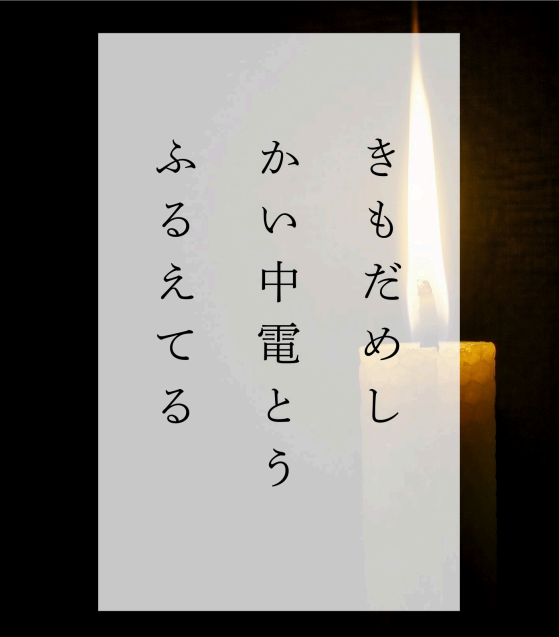
大石田町立大石田南小学校 1年 有川柚羽

山形県現代俳句協会賞

尾花沢市教育委員会教育長賞



会いたいな
どこかさみしい
夏休み



きもだめし
かい中電とう
ふるえてる

鶴岡市立藤島小学校 6年 奥山瑛喜

上山市立宮川小学校 3年 石山湊士



春の朝
生き物すべてが
新学期



にゆうがくしき
パパとママも
いちねんせい

鶴岡市立藤島小学校 6年 大井あかり

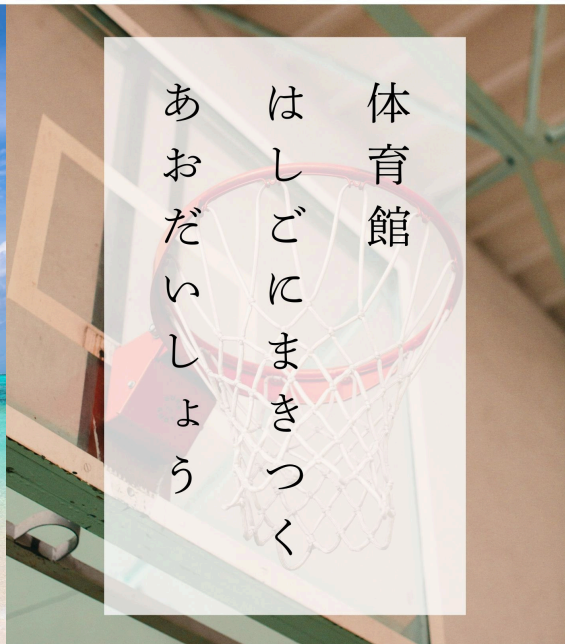
尾花沢市立玉野小学校 1年 菅野奨

みちのく村山農業協同組合賞

尾花沢市商工会賞



砂浜に
日焼けの背中
チョコみたい



体育館
はしごにまきつく
あおだいしょう

鶴岡市立藤島小学校 6年 成澤 真央

上山市立宮川小学校 3年 早坂風香



地図記号
みんなで見つける
春の町



風鈴が
ひらひらリンリン
バレリーナ

上山市立宮川小学校 3年 今野碧人

尾花沢市立尾花沢小学校 5年 長谷川心音

奥坂 まや先生 特選



山の中
澄んだ空気と
澄んだぼく

選者 奥坂 まや先生より

「山の中澄んだ空気と澄んだぼく」

特選句は、都会では経験できない秋の山のきれいな空気の中で、
自分自身までも澄んで感じられた所に深い発見があつて、
季語「秋澄む」が読み手にも実感できます。

三川町立東郷小学校 3年 渡邊湊斗

けがさせて
すぐあやまれない
梅雨曇

撰者 大類 つとむ先生より

「けがさせてすぐあやまれない梅雨曇」

ちよっとしたはずみで、友だちにけがをおわせてしまったの
でしょう。でも、本心とはうらはらに、なかなかすなおにあや
まれません。誰にでもあることかもしれない。心の中のもの
もやを「梅雨曇」（つゆぐもり）のふんいきがよく表しています。
季語にたくした心のありようがとても良い俳句にしています。

天童市立寺津小学校 5年 高橋 祈々

うんどう会
空からひばりの
おうえんだん

撰者 あべ 美佳先生より

「うんどう会空からひばりのおうえんだん」

なんてステキな一句でしょう！一瞬で情景が浮かびました。
高くて青い空、いい匂いのするみどりの風、空を泳ぐひばりたち。
スタート位置につく緊張感、家族や地域の人たちの声援……。
自分の記憶とも重ね合わせて想像することができました。

尾花沢市立玉野小学校 2年 西塚 琉生

奥坂 まや 先生 選 小学生の部

秀逸

夏の川生き物いっぱい石のうら	大石田町立大石田小学校	四年	荒井 景登
砂浜に日焼けの背中チョコみたい	鶴岡市立藤島小学校	六年	成澤 真央
お花見にいろんなピンクがまじってる	尾花沢市立尾花沢小学校	二年	伊藤 良桜
バッタの子そつとさわってやわらかい	尾花沢市立尾花沢小学校	二年	木内 孝洗
風鈴がひらひらリンリンバレリーナ	尾花沢市立尾花沢小学校	五年	長谷川 心音

佳作

一輪車手をはなせたよ春の風	上山市立宮川小学校	三年	井上 優翔
体育館はしごにまきつくあおだいしょう	上山市立宮川小学校	三年	早坂 風香
ひまわりがわたしのしんちようこしていく	大石田町立大石田南小学校	四年	小内 凜乃
どじようつり足をすべらせどろだらけ	大石田町立大石田南小学校	五年	高橋 優斗
新きろく金魚すくいで十ぴきだぞ	尾花沢市立尾花沢小学校	二年	萩原 りりは
雪解けのしずくきらきらほうせきだ	高畠町立和田小学校	六年	渡部 未来
暗くてもほたるで見えるパパの顔	尾花沢市立尾花沢小学校	四年	加藤 颯真
夏の朝日の出に合わせセミが鳴く	尾花沢市立尾花沢小学校	五年	青藤 蒼
自転車でたびするぼくの春の道	尾花沢市立玉野小学校	三年	笹原 雅弥
運動会声えんの中走り切る	尾花沢市立玉野小学校	五年	秋葉 莉音

大類 つとむ 先生 選 小学生の部

秀逸

一輪車手をはなせたよ春の風	上山市立宮川小学校	三年	井上 優翔
会いたいなどこかさみしい夏休み	鶴岡市立藤島小学校	六年	奥山 英喜
春の朝生き物すべてが新学期	鶴岡市立藤島小学校	六年	大井 あかり
朝の会混ざりたそうなおニヤンマ	尾花沢市立宮沢小学校	六年	安野 莉望
にゆうがくしきパパとママもいちねんせい	尾花沢市立玉野小学校	一年	菅野 奨

佳作

残雪をふみ鳴らしては春の海	河北町立谷地西部小学校	六年	宇野 遥馬
地図記号みんなで見つける春の町	上山市立宮川小学校	三年	今野 碧人
夏の道ツバメが通る道開けて	大石田町立大石田北小学校	四年	齋藤 洋太
直ばい所ばばちゃんとかせい夏やさい	大石田町立大石田南小学校	六年	森 蓮
ひまわりがわたしのしんちようこしていく	大石田町立大石田南小学校	四年	小内 凜乃
あさがおのともだちふえるなつのあさ	大石田町立大石田南小学校	一年	有川 柚羽
ひまわりが僕のこと見て笑ってる	尾花沢市立尾花沢小学校	四年	齋藤 晏寿
おりがみでたなばたかざりりビングに	尾花沢市立福原小学校	二年	石川 翠依

あべ 美佳 先生 選 小学生の部

秀 逸

残雪をふみ鳴らしては春の海
あさがおのともだちふえるなつのあさ
朝の会混ざりたそうなおニヤンマ
暗くてもほたるで見えるパパの顔
きもだめしかいちゅう電灯ふるえてる

河北町立谷地西部小学校 六年 宇野 遥馬
大石田町立大石田南小学校 一年 有川 柚羽
尾花沢市立宮沢小学校 六年 安野 莉望
尾花沢市立尾花沢小学校 四年 加藤 颯眞
上山市立宮川小学校 三年 石山 湊士

佳 作

体育館はしごにまきつくあおだいしょう
進まない太陽背負って登下校
ふきのとう今はぼくにはにがいかな
ラジオつけさるから守るさくらんぼ
夏の道ツバメが通る道開けて
げんかんにゴロゴロスイカ夏が来た
プニプニの小さなバツタそうとつまむ
けがさせてすぐあやまれない梅雨曇
昼下がりにアイスみたいに溶けちゃうよ
さくらんぼふたご見つけたゆらしたよ

上山市立宮川小学校 三年 早坂 風香
鶴岡市立藤島小学校 六年 阿部 嶺
大石田町立大石田北小学校 三年 笹原 悠正
上山市立宮川小学校 三年 遠藤 羽留
大石田町立大石田北小学校 四年 齋藤 洋太
大石田町立大石田南小学校 四年 遠藤 茉莉衣
尾花沢市立尾花沢小学校 二年 加藤 怜
天童市立寺津小学校 五年 高橋 祈々
尾花沢市立尾花沢小学校 五年 三浦 愛夏
尾花沢市立福原小学校 二年 尾崎 結衣

中学生の部

山形県議会議長賞



涼しさを
部屋に残して
外へ出る

無名子

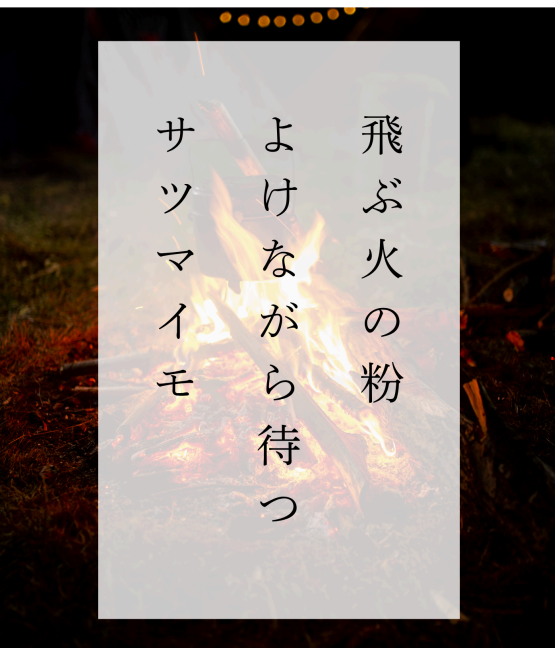
山形県知事賞



漆黒の
わたしを誘う
夏の星

尾花沢市立尾花沢中学校 3年 石沢さくら

山形県市長会会長賞



飛ぶ火の粉
よけながら待つ
サツマイモ

東根市立第一中学校 1年 戸村奏心

山形県教育委員会教育長賞



アメ横の
ごちゃ混ぜ匂い
春風と

三川町立三川中学校 3年 庄司健人

尾花沢市議会議長賞

尾花沢市長賞

「どこに行く？」
「何になる？」
山笑う

オムライス
上手にできて
五月晴れ

東根市立大富中学校 3年 寒河江 絢月

米沢市立第二中学校 3年 植野 まお

山形県現代俳句協会賞

尾花沢市教育委員会教育長賞

弟と
サイダー分ける
平和な日

突然に
恋が始まる
運動会

上山市立宮川中学校 3年 佐藤 綾郁

東根市立第一中学校 1年 川原 愛翔

尾花沢市観光物産協会賞 尾花沢市芸術文化協会賞



友と話す
消えぬ日焼けと
思い出と



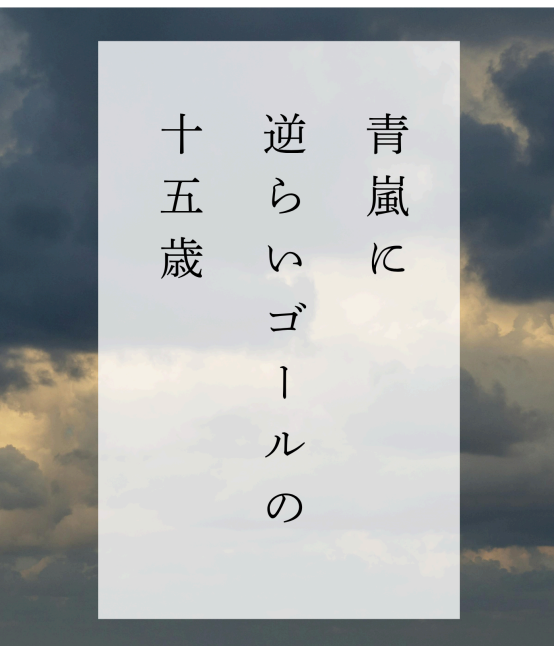
桜散り
すっからかな
心のよう

酒田市立第六中学校 3年 伊藤ほなみ

酒田市立第六中学校 3年 柴田叶夢

みちのく村山農業協同組合賞

尾花沢市商工会賞



青嵐に
逆らいゴールの
十五歳



蝉時雨
止むとき空の
青まさる

新庄市立日新中学校 3年 井上礼温

米沢市立第二中学校 3年 樋口緑

夏祭り

いとこの彼女

やってきた

大江町立大江中学校 3年 長岡奏汰

サンダルを
探す夕暮れ
夏の川

東根市立第一中学校 1年 大場一颯

奥坂 まや先生 特選

特別選者 奥坂 まや先生より

「投げられて道着の形に汗の跡」

特選句の季語「汗」は、簡単そうで難しい季語です。取り
合わせとして使いにくいので一物句になりますが、流れる汗
や光る汗などの今まで沢山詠まれている内容になってしま
う事が多いのです。

特選句は、柔道マットの上の汗の形を描写して、闘う時の
汗の量や投げの強さが臨場感をもって伝わり、斬新な俳句に
なりました。

投げられて
道着の形に
汗の跡

金山町立金山中学校 3年 山田海司

大類 つとむ先生 特選



知育菓子

こつそり開く

夏祭り

東根市立第一中学校 1年 伊藤陽月葉

選者 大類 つとむ先生より

「知育菓子こつそり開く夏祭り」

このお菓子を食べると頭が良くなりますよお、というのが推しのお菓子でしょう。知的能力や思考能力を高める養分がたっぷりのものと思われます。祭りの夜店で買ったその袋をちよつとドキドキしながら開きました。「知的」と「夏祭り」というふたつの言葉は、なかなか普段は結び付きません。とても新鮮で確かな俳句です。

あべ 美佳先生 特選



思い出は

夏まで残す

雪だるま

大江町立大江中学校 3年 庄司一期

選者 あべ 美佳先生より

「思い出は夏まで残す雪だるま」

「たしかに！」と膝を打つ名句でした。この句を詠んだ方は、いつ、誰と、どんなところで雪だるまをつくったのでしょうか。きっと、大切な人と手を真つ赤にして遊んだのでしょう。たつた十七音の奥に温かい物語が広がっていました。そういう俳句が私は好きです。

奥坂 まや 先生 選 中学生の部

秀逸

川を跳びぐんぐんのぼる鯉の群れ
向日葵の私も欲しいあの強さ
「どこに行く?」「何になる?」山笑う
青い空くらげみたいに浮かびたい
蟬時雨止むとき空の青まさる
漆黒のわたしを誘う夏の星

上山市立宮川中学校	三年	木村 旺成
上山市立宮川中学校	三年	鈴木 真央果
東根市立大富中学校	三年	寒河江 紬月
米沢市立第四中学校	三年	五十嵐 皓星
米沢市立第二中学校	三年	樋口 禄
尾花沢市立尾花沢中学校	三年	石沢 さくら

佳作

アメ横のごちや混ぜ匂い春風と
張りつめた初夏の熱さに竹刀鳴る
遠く見る打ち上げ花火音遅れ
白い息と悔し涙の帰り道
吹雪の日風に押されて登校だ
オムライス上手にできて五月晴れ
ほおばれば塩香るかな桜餅
夏近し子らの声跳ね野に広がる
五月雨を部屋でぼんやり眺めてる
蛭とび水面に映る光影
面をつけ最後の夏の大勝負
緊張の中友探す新学期
飛ぶ火の粉よけながら待つさつまいも
突然に恋が始まる運動会
さあシュート汗のしぶきがボール蹴る

三川町立三川中学校	三年	庄司 健人
天童市立第三中学校	三年	原田 悠平
鶴岡市立藤島中学校	三年	成田 礼央
鶴岡市立藤島中学校	三年	長谷川 羽美
鶴岡市立藤島中学校	三年	小松原 来夢
米沢市立第二中学校	三年	植野 まお
米沢市立第二中学校	三年	高木 仁子
米沢市立第二中学校	三年	平山 大翔
新庄市立日新中学校	三年	中島 寧来
村山市立葉山中学校	三年	松田 恋奈
村山市立葉山中学校	三年	門脇 玄治
東根市立第一中学校	一年	小野田 愛羅
東根市立第一中学校	一年	戸村 奏心
東根市立第一中学校	一年	川原 愛翔
東根市立第一中学校	一年	羽田 陽彩

大類 つとむ 先生 選

中学生の部

秀逸

弟とサイダー分ける平和な日
 アメ横のごちや混ぜ匂い春風と
 インスタの夏のノートは片思い
 涼しさを部屋に残して外へ出る
 オムライス上手にできて五月晴れ
 漆黒のわたしを誘う夏の星
 桜散りすつからかなんな心のよう
 突然に恋が始まる運動会

佳作

指先に月の雫が触れた夏
 テインパニの轟然たるや夏の夕
 夏祭りいとこの彼女やつてきた
 幅跳びの一步踏みきり夏近し
 夏近し積み上げられた参考書
 青空を透かして光るラムネ瓶
 炎天や応援を背に立つ打席
 青嵐に逆らいゴールの十五歳
 笛が鳴り部活動の夏幕閉じる
 雪かきに楽しさ覚える十二歳
 友と話す消えぬ日焼けと面白い出と
 サンドルを探す夕暮れ夏の川
 梅雨の朝テニスコートにたまる水

三川町立三川中学校	三年	菅原	煌来
新庄市立新庄中学校	三年	村上	桜彩
大江町立大江中学校	三年	長岡	泰汰
天童市立第三中学校	三年	伊藤	莉乃
東根市立大富中学校	三年	牧野	美沙妃
新庄市立萩野学園	九年	渡部	珠嬉
米沢市立第四中学校	三年	土岐	莉菜
新庄市立日新中学校	三年	井上	礼温
村山市立葉山中学校	三年	峯田	綾人
大石町立大石田中学校	一年	遠藤	健留
酒田市立第六中学校	三年	伊藤	ほなみ
東根市立第一中学校	一年	大場	一颯
米沢市立第四中学校	一年	鈴木	凌
山口市立宮川中学校	三年	佐藤	綾郁
三川町立三川中学校	三年	庄司	健人
東根市立大富中学校	三年	渡邊	瑠望
		無名子	
米沢市立第二中学校	三年	植野	まお
尾花沢市立尾花沢中学校	三年	石沢	さくら
酒田市立第六中学校	三年	柴田	叶夢
東根市立第一中学校	一年	川原	愛翔

あべ 美佳 先生 選 中学生の部

秀逸

涼しさを部屋に残して外へ出る

無名子

君の顔日傘の下でも眩しくて

上山市立北中学校

三年 川合 洋斗

飛ぶ火の粉よけながら待つさつまいも

東根市立第一中学校

一年 戸村 葵心

りんご飴溶かしきれない甘い夏

米沢市立第四中学校

三年 本間 瑠衣

梅雨の月蜘蛛の巣はさめば真珠かな

東根市立第二中学校

三年 村上 蒼

春昼の眠りの体シャボン玉

天童市立第三中学校

三年 大石 琉生

争いのない日いつ来る夏の朝

東根市立第一中学校

一年 渡辺 龍翔

佳作

すやすやと畳に恋する夏休み

東根市立第一中学校

二年 星川 響輝

夏の雨心が映る水たまり

東根市立第一中学校

三年 笹原 華乃

花火より君の背中を見つめてる

尾花沢市立尾花沢中学校

三年 鈴木 恵生

インスタの夏のノートは片思い

東根市立大富中学校

三年 渡邊 瑠望

蚊に刺されモチ期来たかな騒ぐ俺

米沢市立第二中学校

三年 小貫 僚太

背の高い向日葵支える土を見る

新庄市立日新中学校

三年 沼野 瑞

たんぼばに祖母の思い出続く道

新庄市立日新中学校

三年 佐藤 結里

投げられて道着の形に汗の跡

金山町立金山中学校

三年 山田 海司

紫陽花や水たまり越え跳ねる声

大江町立大江中学校

三年 村山 莉彩

かすれては流星のごとく黒のペン

東根市立大富中学校

一年 寒河江 航

扇風機となりで妹口空けて

鶴岡市立藤島中学校

三年 上田 妃織

友と話す消えぬ日焼けと思いい出と

酒田市立第六中学校

三年 伊藤 蒼志

銀山や風鈴の音湯の香り

尾花沢市立尾花沢中学校

三年 伊藤 蒼志

北国のスイカの種や春を待つ

東根市立第一中学校

三年 大石 怜葵

夜桜とかくれんぼする臘月

東根市立第一中学校

一年 富樫 結愛



令和7年11月

発行者 尾花沢市

編集 尾花沢市教育委員会
社会教育課